

## 2009年春期（第144回）大会記録



2009年春期大会は、**3月28日から30日**の期間、東京工業大学大岡山キャンパスにおいて開催した。講演発表件数は1,086題、大会参加者は1,704名であった。

- 3月28日**（9：00～12：20） 通常総会、大韓金属・材料学会代表挨拶、TMS代表紹介、各賞贈呈式、名誉員推戴式、顧問推戴式、退任・新任会長挨拶、学会賞受賞記念講演、本多記念講演（西9号館デジタル多目的ホール）
- （13：00～17：15） 一般講演、シンポジウム講演、名誉員推戴記念講演、外国人特別講演、共同セッション（本館、西2号館、西3号館、西5号館、西6号館、西8号館、西9号館 20会場）
- （15：00～17：00） ポスターセッション（百年記念館1階）
- （18：30～20：30） 懇親会（八芳園「ジュール」）
- 3月29日**（9：00～18：00） 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、Young Leader International Scholar 講演、KIM-JIM シンポジウム（22会場）
- 3月30日**（9：00～16：35） 一般講演、シンポジウム講演、受賞講演、共同セッション、（本館、西2号館、西3号館、西5号館、西6号館、西8号館、西9号館 22会場）
- 3月28日～3月30日** 総合受付（西9号館2階）  
付設機器・カタログ展示会、金属組織写真展覧会（西9号館2階）

### 第73回通常総会（3月28日）

午前9時森永正彦会長が定款第31条により議長となり開会を宣した。当日の出席社員（役員および評議員）37名、委任状提出社員131名、計168名で定款所定の社員総数の1/2を越えたので本総会は正式成立し、森永会長議長のもとに議案は満場一致で可決された。

- 議事（第1号議案）平成20年度事業報告書及び収支決算書の件  
（第2号議案）平成21年度事業計画書及び収支予算書の件  
（第3号議案）役員選挙の件

### 大韓金属・材料学会代表挨拶（3月28日）

本会と大韓金属・材料学会との学術交流協定にもとづき、Kwon Oh Joon 副会長が来日し挨拶した。

### TMS 代表紹介（3月28日）

本会とTMSとの国際交流促進協定にもとづき、TMSから第4回 Young Leader International Scholar として来日した代表者1名の Donald J. Siegel 氏が紹介された。

各受賞贈呈の前に会長の式辞があり、続いて贈呈があった。（3月28日）



- 第 54 回学会賞贈呈式 牧 正志君に対して賞状ならびに賞牌贈呈。
- 第 67 回功績賞贈呈式 8 名（物性部門 1 名、組織部門 1 名、力学特性部門 1 名、材料化学部門 1 名、材料プロセッシング部門 2 名、工業材料部門 1 名、工業技術部門 1 名）に対し賞状ならびに賞牌贈呈
- 第 48 回谷川・ハリス賞贈呈式 4 名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
- 第 15 回増本量賞贈呈式 1 名に対し賞状ならびに副賞贈呈。
- 第 50 回技術賞贈呈式 4 名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
- 第 10 回学術功労賞贈呈式 3 名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
- 第 40 回研究技術功労賞贈呈式 11 名に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
- 第 59 回金属組織写真賞贈呈式 優秀賞（A 部門 3 件、B 部門 2 件）に対し賞状ならびに賞牌贈呈。
- 第 10 回若手講演論文（第 57 回論文賞） 3 編に対し賞状贈呈。

各推戴式の前に会長の式辞があり、続いて贈呈があった。（3 月 28 日）

名誉員推戴式 3 名に対し推薦状ならびに名誉員章贈呈。

顧問推戴式 2 名に対し推薦状贈呈。

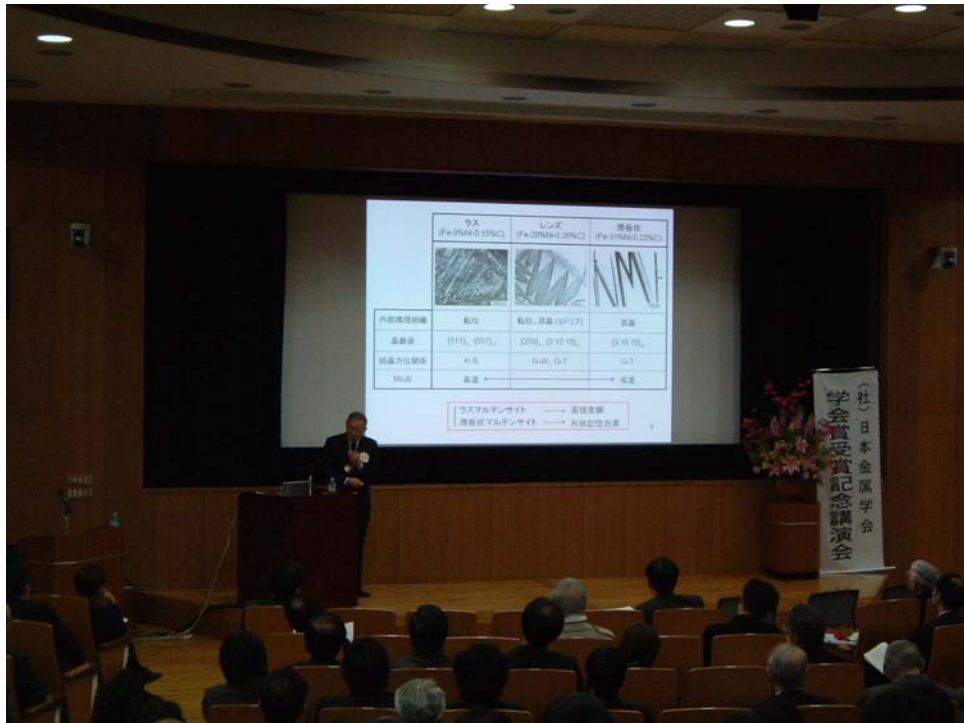
**退任・新任会長挨拶**

3 月 28 日通常総会を以て会長が交替し、森永正彦会長の退任の挨拶と加藤雅治新会長から就任の挨拶があった。

**第 54 回学会賞受賞記念講演（3 月 28 日）**

「鋼のマルテンサイトー構造材料から機能材料までー」

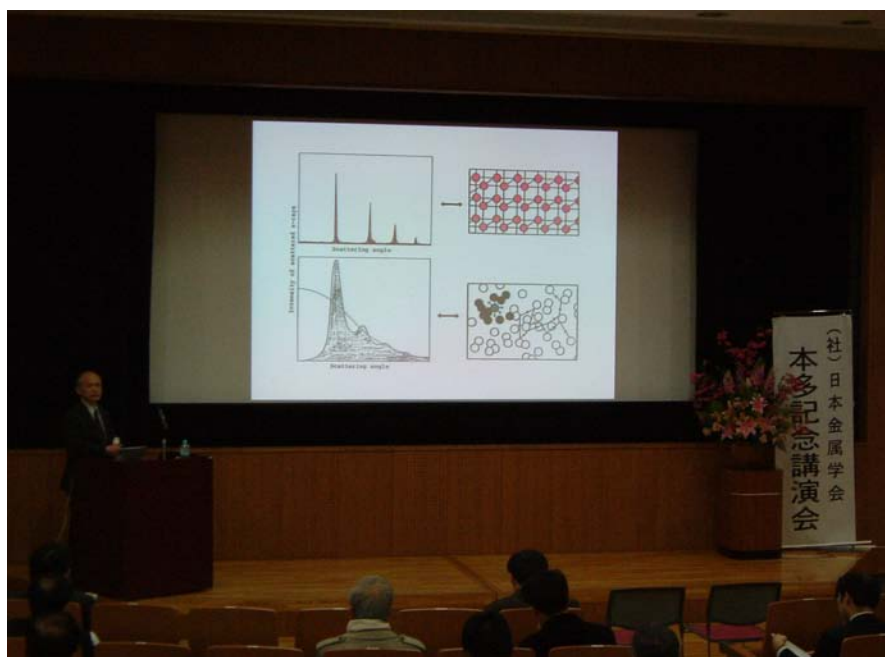
新日本製鐵株式会社顧問、京都大学名誉教授 牧 正志 君



## 第 54 回本多記念講演会 (3 月 28 日)

「溶融金属および合金の微細構造」

東北大学多元物質科学研究所教授・フェロー 早稲田 嘉 夫 君



## 懇親会 (3 月 28 日)

八芳園「ジュール」(港区白金台)において日本鉄鋼協会と合同で開催した(参加者は 310 名、本会への申込者 108 名)。

来賓挨拶 東京工業大学学長 伊賀健一君  
代表挨拶 日本金属学会会長 加藤雅治君  
代表挨拶・乾杯 日本鉄鋼協会会長 友野宏君  
司会 東京工業大学教授 竹山雅夫君



左から 梶原事務局長、松尾教授(東工大)、  
伊賀東工学学長、加藤会長(東工大)



司会 竹山雅夫准教授(東工大)

## 学術講演会（3月28日～30日）

**講演数** 公募シンポジウム講演 9 テーマ 260 題（基調講演 62 題、名誉員推戴記念講演 1 題、外国人特別講演 2 題、受賞講演 2 題含む）

一般講演 699 題（名誉員推戴記念講演 1 題、受賞記念講演 15 題、Young Leader Scholar 講演 1 題含む）

ポスターセッション 81 題、共同セッション 49 題（金属学会申込 24 題）、KIM-JIM シンポジウム 20 題、学会賞 1 題、本多記念講演 1 題

**講演会場** 25 会場（共同セッション会場含む）

## 第 12 回ポスターセッション

3月28日 15:00～17:00 の時間に百年記念館 1 階で 81 件のポスター内容・発表について審査が行われた。一般講演が終了した 16 時頃には、入場者が急増し、特に熱気に溢れた。翌 29 日「優秀ポスター賞」17 名が決定し、受賞者を総合受付に掲示した。



熱気溢れるポスター会場。

## 第12回 優秀ポスター賞 受賞者

第12回 優秀ポスター賞	賞受賞者
1. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	2. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
3. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	4. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
5. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	6. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
7. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	8. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
9. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	10. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
11. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	12. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
13. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	14. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
15. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	16. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科
17. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科	18. 超微細組織制御による材料強度向上のメカニズムの解明 東京大学大学院工学系研究科

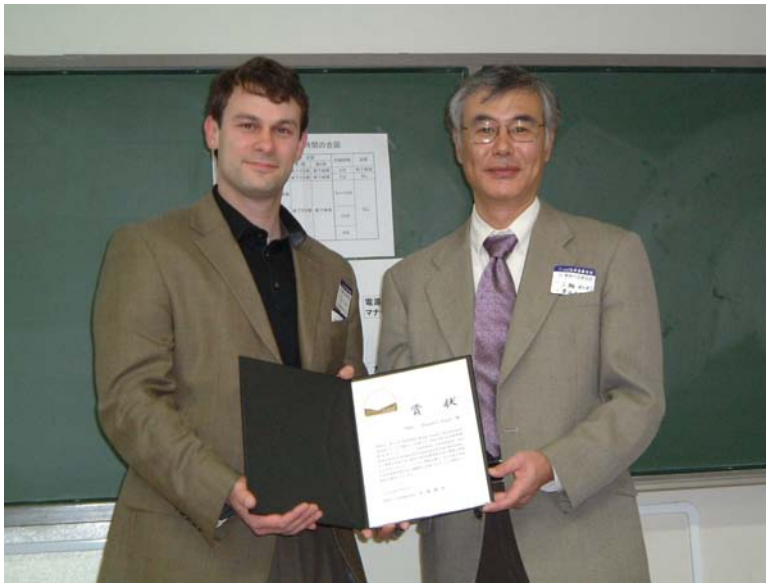
おめでとうございます。  
いました。

## 金属学会・鉄鋼協会共同セッション

- ・ 「チタン・チタン合金」18 題は 3 月 29 日に金属学会 T 会場で開催した。
- ・ 「超微細粒組織制御の基礎」16 題は 3 月 28 日に鉄鋼協会第 17 会場（金属学会 W 会場）で開催した。
- ・ 「マイクロ波応用プロセッシング」15 題は 3 月 30 日に鉄鋼協会第 2 会場（金属学会 X 会場）で開催した。

## Joint JIM/TMS Young Leader International Scholar Program

若手研究者の活動の活性化と TMS との国際交流促進を目的に 06 年より設けられた Joint JIM/TMS Young Leader International Scholar Program として、TMS から派遣された代表者 1 名が一般講演の中で Young Leader International Scholar 講演発表後、座長より賞状が授与された。



TMS 代表 Donald J. Siegel (左)  
と三輪和利座長

## KIM-JIM シンポジウム

「Biomedical Materials」をテーマに、3月29日に百年記念館3階フェライト会議室で開催した。合金プロセス、組織、力学的生体機能、界面化学的生体機能、表面改質などの課題に対して、韓国側から11題、日本側から10題の発表があり、活発な討論が行われた。修了後、日本側若手研究者を含めて80名が参加して懇親会が行われ、さらに活発な議論が続いた。

## 付設機器・カタログ等展示会(第26回)

18社(機器展示17社、カタログ1社)から出展の協力を得た。展示会場の西9号館は会員休憩室であったため、多くの参加者が機器展示ブースへ足を運んでいるのが見受けられた。各社のご好意に感謝いたします。

## 託児室開設

今回8回目となる託児室開設は事前に1名の申込があったが、利用者急病のためキャンセルとなり、実際は開設しなかった。

## 大会雑記

東京工業大学では2004年より5年ぶりの開催となる。平年より気温が低かったものの、天候には恵まれ、桜咲くキャンパスでの開催となった。大学は最寄駅前にあり、アクセス的にも非常に便利であった。本会講演会場は本館、西2号館、西3号館、西5号館、西6号館、西8号館、西9号館に分かれていたが、建物間の距離が比較的に短いため、会場間の移動もスムーズで、時折足を留め桜を眺めながら会場へ向かう姿など見受けられた。

当初の講演申込登録以後 1件の欠講があり、最終講演件数は1,086件、参加者数は1,704名(一般1,225名、学生479名、相互聴講100名)であった。相互聴講利用者数が前年に比べ2割程度増えた。

東京工業大学教職員関係者の皆様にはお忙しい中を諸般にわたり終始万端のご配慮をいただき、ご協力に対し心から厚く御礼申し上げます。